安心安全なみちづくり （1）

基本方針（テーマ）4

万が一の時の物資輸送路や安全な場所への避難路を確保します



1 山形県の現状

県内は土砂崩れや越波などによる自然災害が多く、それによる道路交通への影響も多く発生しています。また、県内は多くの活断層が存在するため、将来起こるかもしれない大地震への備えが必要です。



土砂崩れによる被災（国道113号小国町）



波を被る国道7号（大岩川地区）



資料：山形県活断層に関する調査成果報告書(H10)より作成

平成18年度以降への反映

緊急輸送道路の確保に向けて防災・震災対策、越波対策を実施します

3 平成18年度の代表的な取り組み（業績計画書）

引き続き防災点検対策箇所の対策や、緊急輸送道路の橋梁耐震補強などを推進し、災害に対し安全で信頼性の高い道路を確保します。

防災点検対策箇所数

平成17年度 実績	平成18年度 目標
616箇所（50箇所）／1,718箇所	668箇所（52箇所）／1,718箇所

上図の（ ）内は単年度対策箇所数

取り組み1 耐震補強工事の継続

継続して橋梁の耐震補強工事などを実施します。



実施予定の国道345号上藤島橋（鶴岡市藤島）

取り組み2 高屋道路の事業着手（戸沢村大字古口）

国道47号の事前通行規制区間の解消や、自然災害による度重なる通行止め解消を図るため、平成18年度より事業に着手します。



事前通行規制区間(連続雨量150mm)



土砂流出に伴う通行止め（戸沢村猪ノ鼻地内）

平成17年度を振り返って

防災対策を進めましたが、依然として対策必要箇所が多数残存しています

2 平成17年度に実施した代表的な取り組み（達成度報告書）

対策必要箇所の対策や国道7号の塩害橋対策、越波対策を実施しました。
また、震災対策として、緊急輸送道路の橋梁耐震補強を実施しました。

防災点検対策箇所数 目標達成

平成17年度

目標	実績
613箇所（47箇所）／1,718箇所	616箇所（50箇所）／1,718箇所

上図の（ ）内は単年度対策箇所数

取り組み1 国道7号の塩害橋対策の実施

波しぶきにより腐食が進んでいた温福陸橋は、架け替えが完成しました。
これで予定していた**17橋全ての塩害橋対策が完了**しました。



橋裏の損傷事例



整備後の温福陸橋



取り組み2 国道7号の越波対策の実施

消波工※を２箇所で整備し、越波対策を行いました。
平成18年度も引き続き対策を進めます。



整備後の国道7号 小岩川陸橋南側

TOPIC 景観に配慮しました

日本海沿岸の岩礁景観を損なわないよう配慮して、走行する車両から見える景色に極力消波ブロックが入らないよう計画するとともに周囲に馴染むよう擬岩ブロック等を採用しました。



擬岩ブロック

※消波工とは　波の衝撃を弱めるために、海岸にブロックを設置する工法です。



取り組み3 耐震補強工事の実施

県内55箇所で耐震補強工事を実施しました。

■主な耐震補強工事

- （県）鶴岡羽黒線苗津新橋（落橋防止装置）
- 国道13号万代大橋（橋脚補強）
- 国道13号山形大橋（落橋防止装置）





取り組み4 防災点検対策必要箇所の対策実施

平成17年度は、50箇所の対策を実施しました。平成18年度も引き続き対策を進めます。

※（県）：主要地方道及び一般県道を示します